



# Indian dining (インディアン・ダイニング) ハスノハナ

## インド人のシェフが作る「本場の味」に日本独特の気配りとやさしさをのせて

今年7月オープンしたばかりのインディアン・ダイニング「ハスノハナ」。野菜がたっぷりでありながら、インドから直接取り寄せている30種類以上のスパイスや香辛料から作られた深い味わいを



●一番人気の目玉セット、850円。「本日のカレー」は毎日違う種類の野菜が楽しめる。ゴマを使ったフレッシュな大好評のサラダ、焼きたてナン、タンドリーチキンがセットでボリューム満点。+200円で付いてくるマンゴーラッシーは、アルファソンのマンゴーを使った極上のおいしさ!

顔をみても、若くもヘルシーで、とてもヘルシーでありながら、インドから直接取り寄せている30種類以上のスパイスや香辛料から作られた深い味わいを

「手づくり、無添加、清潔感がテーマです。固形スープなどを一切使わず、野菜とスパイスをじっくり煮込んでペースを作っています」と答えてくれたのは、オーナーの小林さん。本場、インド料理の味を守りながら、日本人好みの味をポイントで取り入れ、接客面でも、日本のサービスの高さや繊細な心遣いをする等、両国の味や文化から「いいとこどり」しているため、満足感を味わえる空間に仕上がっています。

はじめは舌触りがふんわりと優しく、後からピリピリと辛さが追ってくるカレーは絶品! また、辛さのランクも自由に選べ、超激辛までチャレンジしに来るお客様も多いのだそうです。

「鮮やかなグリーンが食欲をそそるグリーンソープ(ほうれん草のナン)350円。ナンの甘さとほうれん草のほろ苦さが絶妙にマッチ



●鮮やかなグリーンが食欲をそそるグリーンソープ(ほうれん草のナン)350円。ナンの甘さとほうれん草のほろ苦さが絶妙にマッチ



バス停からすぐ、コノミヤの前という抜群の立地。コノミヤでの買い物後、立ち寄る人も多いのだとか

既にお店のファンやリピーターも多く、「本日のカレー」セットが曜日ごとに違う種類になったのも「毎日違う種類が食べたい」という熱心なリピーターのご要望なのだとか。

注文を受けてからスピーディーに焼かれるナンのボリュームも特筆もの。ホクホク・アツアツを手でちぎり、野菜とスパイスの旨味がたっぷり溶け込んだカレーに、遅して食べる喜び……。このセットを食べると心元になれる! と何度も来店したくなるのも、納得です。「この店を開く時に、本当に多くの人が見返りを求めず協力してくださって、人の温かさをすごく実感したんです。だから私も、笑顔と美味しい料理を提供できるようにいろいろ工夫していきたいですね。そう語る小林さんの笑顔には、はじめて来たお客様もホッと一息つける「安らぎ」が漂っていました。

**★「リビングフレッシュ」を奥とスタッフにお伝えください。アイスドリンクをサービスいたします(11月30日まで)**

**お店データ**

- 最寄駅: 南海高野線金剛駅
- 南海バス: 狹山ニュータウンセンター下車すぐ
- 住所: 大阪狭山市大野台1-1-1
- Tel: 072-367-5345
- 営業時間: 11:00~15:00(ランチタイム)
- 17:00~21:00(ディナータイム)
- 定休日: 木曜日
- 駐車場: コノミヤ・松原さんの駐車場をご利用ください
- その他: ホームページhttp://hasunohana.jimdo.com/

# コラボ 協働で街を元気に

## 河内長野市民大学「くろまる塾」

官・民・学協働のコミュニティカレッジ 市内全域を「学び舎」に

住民の生涯学習を目的として1970年頃から各自治体に誕生した市民大学。時代変化とともにその内容や役割が変わる中で、今年の6月に開校した河内長野市民大学「くろまる塾」のユニークな取り組みが注目を集めています。



河内長野市には以前から「まちづくり市民講座」のほか、前期、後期それぞれ5回シリーズの「モックルいきいき大学」がありましたが、くろまる塾ではこれを核に新たな市民大学として発足。「期間を限定せず、だれでもいつでも入学できることや、講座の主催者も行政に限らず地元企業や大学、NPO法人などと連携して市内全域を学び舎としているのが特徴です。塾学生の教養を深めるだけでなく、まちづくりを担う人材を育てる狙いがあります」と、生涯学習課の井上伸市課長。背景には人と人とのつながりが弱まり、若者の引きこもりなどの問題が増えるといった社会の現状があるようです。

そこで、くろまる塾では「モックルいきいき大学」の講座も引き継ぎながら、新たに単発受講できる認定講座やイベントを強化。民間とのコラボによる住民の生涯学習を目的に講座では、つまようじ資料室(広栄社)が開く教養講座や、当社河内長野ガスが開く食生活講座なども。また、単位制を採用、一定の単位が取得できれば市独自の「市民学士・修士・博士」の学位が授与されます。入学随時受付。市内在住、在学、在勤の人ならどなたでも、10月から新講座がスタートしています。

- 問い合わせ先=河内長野市民大学「くろまる塾」本部 市民交流センター(キックス)3階 Tel:0721-54-0001
- くびやんネット) http://www.city.kawachinagano.lg.jp/manabiyari/

**11月5日[土]**

開演13:30 開演15:00

【出演】河内長野市民大学「くろまる塾」

【講師】南光亭 ちよよだ 南光亭

【料金】2,000円(税込) 2,500円(税込)

【会場】大塚ホール(小ホール)

【お問い合わせ先】南光亭 06-6353-0039

# このまち大好き!かわちながのの風物詩

## 100年以上の歴史を誇る「川上神社の稚児相撲」

子どもたちの幸せ願って 地域に引き継がれる伝統行事

「西〜花みずき、東〜千剣破道」は、はび姿の呼び出し役が四股名を告げると、拝殿前に設えた直径2mほどの土俵に上がるのはヨチヨチ歩きの子ちゃん力士。まだアゴができない子は、パパ、ママに抱っこされての対戦です。

今年10月10日、稚児相撲は14時から始まる秋まつりの神事に続いて行われます。境内では屋台の出店や合気道の余興も、参道では千幕屋庵の銘菓「稚児相撲」が当日限定で売り出されます。雨天決行。

- 「川上神社」河内長野市鳩原789-1(南海バス「川上神社前」下車徒歩5分)
- 専用駐車場他、当日は臨時駐車場あり、拝観無料
- 問い合わせ先 = 上野英雄さん Tel:0721-63-7782(有) 一徳 (Fax:0721-63-7177)
- 合祀(ごうじ) = 1神社の祭神を他の神社にあわせて祀(まつ)ること。

季節の移ろいを感じさせてくれる主役は、私たちの周りに色々とありますが、秋と言えど、特に日本人の私たちに最も馴染みの深いあの花の香り、キンモクセイがあります。9月下旬頃から、街のどこから漂ってくる芳香は、秋の本番を感じさせてくれるとともに、「早いなぁ、今年もこの時期が来たか」と少々寂しい気持ちになってしまうのは、私だけでしょうか。そんな季節感あるキンモクセイですが、実は1970年代から90年代前半にかけ、トイレの芳香剤として全盛を築いたという話は、一定の年齢以上の方々ならご存知かと思いますが、これは現在のようにインフラが整備されていなかった当時の状況を反映して、「甘くて強い香り」を持ったキンモクセイに白羽の矢が立ったという経緯があるようです。しかしながら、「トイレキンモクセイの香り」というイメージは、当のキンモクセイからすれば迷惑な話ですよね。一方で、気になる話もあります。それは、キンモクセイが排気ガスなどによる大気汚染に敏感だと言われていることです。大気汚染で花芽が付かなくなったり、花が咲いても香りが弱くなる可能性があるようです。環境保全や私たちが誇れる四季感を失わないためにも、身近なところからできることは何かを考えさせる大切なきっかけになります。(安)

# 主婦力鍛えて、自分磨き



「学生たちから見ると生粋の先生でもない、母親でもない、おせっかいおばさん(笑)。だから話しやすいかも」

「早く結婚して母親になりたかった」という小谷さん。「主婦になった後も役立つ勉強を」と、大学時代は被服学を専攻。卒業と同時に結婚。2人の娘さんに恵まれた。家族のためにおいしい料理を作り、安全で快適な生活環境を整え、老親の介護にも奔走。そんな中で41歳の時に「大好きな料理とお菓子作りを極めた」とフランス語を習い始めました。それが思わぬ道に。「ある朝主人が出勤するときに家の前を一人の黒人男性が通りかかったんです。彼は何者?と興味を抱いていたら、その夜帰宅した主人が「駅に行く」と他に二人いて、聞いてみるとフランス語文化園のアフリカの人だっ。たよ。うちに遊びに来るようになったけど、電話からならなかった?」と。この同じ町内に住むコンゴ共和国生まれの彼らとの出会いをきっかけに、アフリカの人々の自立を支援するNGO(民間活動団体)の活動をするようになった小谷さんは、活動を通じて「度々地域の主婦たちとネットワークを築こうと、自宅をオープンハウス形式で開放してミニミニ女性センターを開きました。すると「専業主婦なてつもらない」「むなし」と、独りで頑張っている若い専業主婦たちの心の叫びが聞こえてきました。「主婦ってそんなに魅力のない存在?じゃあ、主婦である私がその役割や生き方を研究してみよう」と、発奮した小谷さんが、

奈良女子大学大学院に入学したのは52歳の時でした。「生活システム」を研究する「人間環境学」を専攻。生活環境学という生活のあり方やその質を学問的に理論づける一方、「パート勤務を含めた「専門的主婦」の意識と行動を調査し主婦たちの自立への道筋を探りました。近年、男女平等を基本とする「ジェンダーフリー」や「男女共同参画」といった考えが主流ですが、小谷さんはこの考えの問題点を指摘しつつ、生活主体の視座から地域社会の中心的存在となる「新主婦」を展開しました。博士課程修了後は大学教員となり、現在は滋賀大学など3カ所の国立・私立

「学生から、いろんな相談を受けますが、若い人たちの考える力が弱まっていると感じます。勉強は教わっても生き残る基本を誰からも教わっていないんです。家に居場所がないと訴える子どもも、やはり家庭の役割は絶大です」とも。

「半徑500mの地域」 3年前に自転車事故で大腿骨を骨折して長時間の歩行が困難

南海金剛駅の近くに住む小谷良子さんは、滋賀大学をはじめ関西の国立・私立大学で「家族関係学」や「生活環境学」を教える「生活環境学」の先生です。博士論文となった「専門的主婦の主体形成論」は「パート勤務を含めた専門的主婦たちが、妻・母としての役割を果たしつつ、どうすれば女性として自分らしい人生を送れるか、自己実現できるかを探ったんです」。そう語るご自身も、52歳の時に大学院に進学、初就職がなんと57歳という「スーパー主婦」なのです。

**プロフィール**

◆小谷 良子 (こたに・よしこ) さん

1946年岡山県生まれ。富田林市在住。2003年奈良女子大学大学院・人間文化研究科博士課程修了。生活環境学・地域社会学専攻。滋賀大学特任教授、大阪教育大学非常勤講師など。ライフデザインアドバイザーとして自治体の生涯学習講座等の講師としても活躍。

「この世で一つだけの花を咲かせるために」

「今、何をすべきか・何ができるか・何をしたいか」と三段論法で考えてみませんか? 人生というスケールで「今」を考えるのが無理なら「今日」に置き換えて考えてください。一日のスケジュールが見えてきます。後は課題に向かって一歩一歩進むだけです。スマップの歌じゃないけど、どんな人でも、自分の花を咲かせることができます。

**ホンモノはどれ?**

正解の方から抽選で図書カード(2000円)を5名の方にプレゼントします。

ホンモノの答え、住所、氏名、電話番号、年齢、職業、本誌の感想・要望などを明記の上、棚外の宛先「ホンモノはどれ?」係へハガキ、またはファックスでご応募ください。 ※10月末日締切 消印有効。 ※当選発表は発送をもってかえさせていただきます。(No.242の正解は⑨でした)

**いざという時に便利な「風呂敷の使い方」**

物を入れる道具として、昔から日本人の生活に欠かせないアイテムだった風呂敷。最近は買い物袋を減らせ、繰り返し使えるのに環境にも優しいといった点や、お洒落な柄やデザインが増えたなどの理由から世代を問わず利用者が増えているようです。今回は、そんな「風呂敷」を利用した包み方、簡単にできるバッグの作り方ををご紹介します。

**シンプルバッグ**

- 風呂敷のa,bを合わせて、三角におります。
- 底辺c,dの高さを各々ひとつ結びをします。
- 頂点を結びます。

**リボン包み**

普通の包み方ではなく、まるでリボンをかけたような斜めの結び目かポイントとなる包み方です。

- 風呂敷の右上の辺a,dの中央付近に内容物の右上の角を置き、この時、風呂敷の端を折り、リボン(紐)を巻きつけ、箱を手前側に反転させます。
- 手前の端を箱にかかれます。
- 左端bの端を箱にかかれます。
- さらに、手前から手前右側へ箱を転がします。
- 残ったaとdの端を裏結びます。